

3

～地域の防災・減災活動の要～
中津市の防災士



市では、みなさんがお住まいの自治会での防災・減災活動の活発化を図るため、平成24年度から県とともに「防災士」の養成を推進しています。市内では、平成31年4月1日現在、約400人の防災士（うち女性は約40人）が、活躍しています。

しかし、「『防災士』という名前を初めて聞いた」「名前を聞いたことはあるけど、どんなことをしている人なのかよくわからない」など、まだまだ知名度が低いのが現状です。

防災士についての理解を深め、地域の防災士と積極的に連携し、防災・減災活動に取り組みましょう。

防災士に関するQ&A

Q 防災士ってどんな人？

A 防災士とは自助・共助・協働を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人のことです。

自助…自分の命は自分で守る。
共助…地域、職場で助け合い、被害拡大を防ぐ。

協働…市民、企業、自治体、防災機関などが協力して活動する。

Q どんなことをするの？

A 防災士それぞれにより、取り組める内容は違いますが、主に次のような活動を行います。

- ◆ 防災訓練の企画・実施
- ◆ まちの危険箇所の確認
- ◆ 災害発生後の避難所の運営
- ◆ 災害時の避難誘導

Q 防災士と連携するためにはどうすれば？

A 市から、自治委員と自主防災組織の代表者に、それぞれの地域に住んでいる防災士の名簿を送付しているのので、各自でお問い合わせください。なお、防災士がいない自治会は、防災士の支援を受けることができるので、詳細が決まり次第、市報などでお知らせします。



活動の様子

■問合先 防災危機管理課 (☎22-1111・内線271)

2

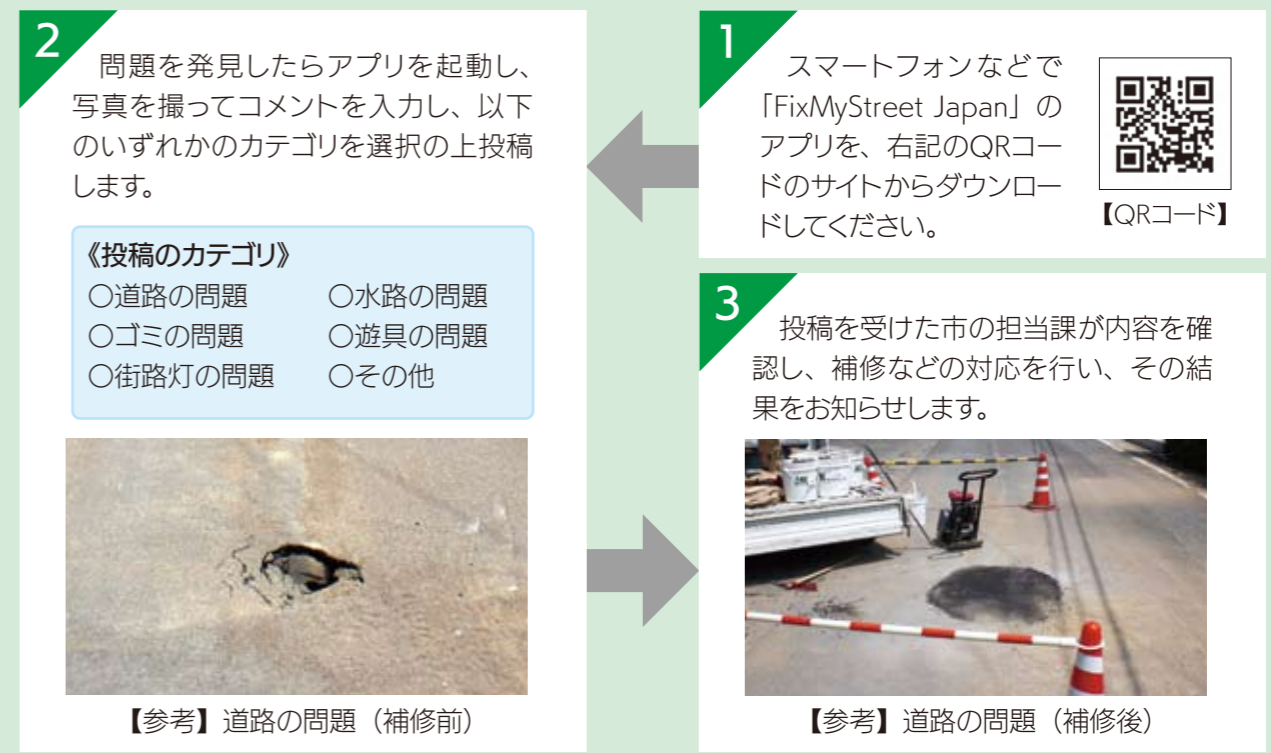
～地域・街の問題をスマホで解決！～
フィックスマイストリート ジャパン
FixMyStreet Japanの積極的な活用を！

市では、市民がスマートフォンなどで専用のアプリを利用し、道路の陥没やゴミの不法投棄、落書きなど、街にあるさまざまな問題を投稿してもらう「FixMyStreet Japan」のサービスを行なっています。電話で市役所に依頼をしなくても、その場で写真を撮影し投稿することで、正確な位置や状況を市の担当課が確認し、対応を行います。

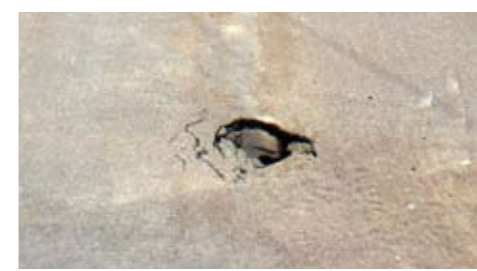
また、災害発生時には災害モードが追加され、落石や通行止めなどの災害に関する投稿もできます。災害時でなくても、日頃から街の問題を解決することは、防災・減災につながります。

よりよいまちづくりのため、積極的な活用をお願いします。

<投稿の流れ>



- 《投稿のカテゴリ》
- 道路の問題
 - 水路の問題
 - ゴミの問題
 - 遊具の問題
 - 街路灯の問題
 - その他



【参考】道路の問題（補修前）



【参考】道路の問題（補修後）

- ⚠ 下記のもの掲載しないでください。
 - ・誹謗中傷に関するもの
 - ・人種、思想、信条、宗教、居住、職業など差別する、または差別を助長するもの
 - ・プライバシーが侵害されるもの
 - ・個人情報などで個人が特定できるもの
 - ・市民同士の民事係争に係るもの
 - ・公序良俗に反するもの
 - ・広告など営利目的であるもの
 - ・その他公開にふさわしくないと判断されたもの
- ※不適切な投稿に対して、市は投稿の非表示、または写真、コメントを加工します。
- ⚠ 写真投稿になじまない騒音、振動、悪臭の問題は、原則対応しません。
- ⚠ 写真撮影のために、危険箇所近づかないでください。

